

第1期末(2024年3月15日)	
基準価額	13,129円
純資産総額	10,308百万円
第1期	
騰落率	31.3%
分配金(税込み)合計	0円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

## ピクテ・グローイング 新興国株式ファンド (1年決算型)

追加型投信／海外／株式

第1期(決算日2024年3月15日)

作成対象期間：2023年4月21日～2024年3月15日

### 受益者のみなさまへ

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。右記の弊社ホームページを開き「ファンド」より当ファンドの名称を選択いただき、さらに「運用報告書(全体版)」を選択いただきますと運用報告書(全体版)を閲覧およびダウンロードすることができます。

○書面での運用報告書(全体版)は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。さて、「ピクテ・グローイング新興国株式ファンド(1年決算型)」は、このたび、第1期の決算を行いました。

当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、主に新興国の中でも相対的に高い成長が期待される国の株式に投資することにより、中長期的な信託財産の成長を図ることを目的としております。当作成対象期間につきましてもそれに沿った運用を行いました。ここに運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

## ピクテ・ジャパン株式会社

東京都千代田区丸の内2-6-1

お問い合わせ窓口

投資信託営業部

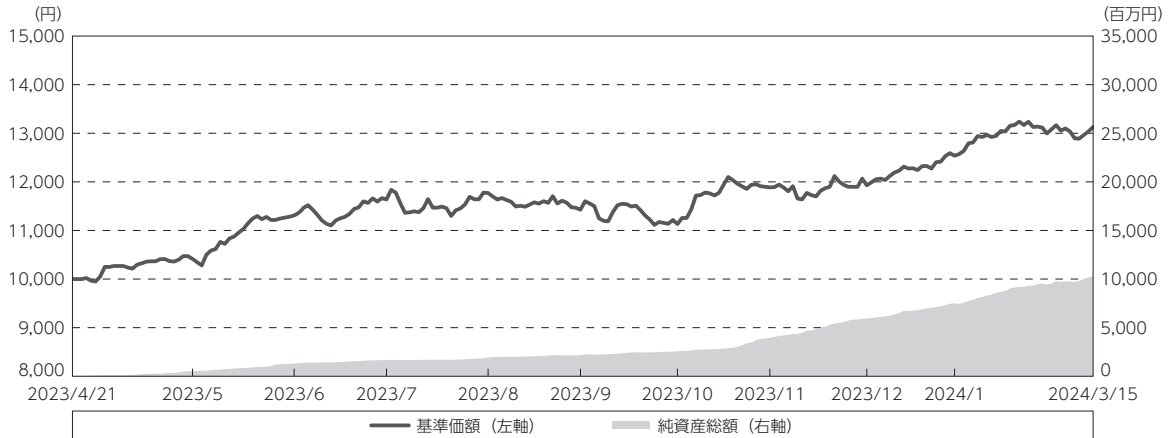
電話番号 03-3212-1805

受付時間：委託者の営業日の午前9時から午後5時まで

ホームページ：www.pictet.co.jp

# 運用経過

## 基準価額等の推移



設定日：10,000円

期 末：13,129円 (既払分配金(税込み)：0円)

騰落率： 31.3%

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマークおよび参考指数は設定していません。

## 基準価額の主な変動要因

- 上昇↑・実質的に組入れている株式の価格が上昇したこと
- 上昇↑・実質的に組入れている株式からの配当収入
- 上昇↑・円に対してメキシコペソなどが上昇したこと

## 1 万口当たりの費用明細

(2023年4月21日～2024年3月15日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	122	1.056	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
( 投 信 会 社 )	( 40)	(0.347)	・ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、各種情報提供等、基準価額の算出等の対価
( 販 売 会 社 )	( 80)	(0.694)	・購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続等の対価
( 受 託 会 社 )	( 2)	(0.015)	・ファンドの財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	4	0.037	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
( 監 査 費 用 )	( 2)	(0.017)	・監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
( そ の 他 )	( 2)	(0.020)	・その他は、目論見書、運用報告書等法定の開示書類の作成等に要する費用その他信託事務の処理等に要する諸費用
合 計	126	1.093	
期中の平均基準価額は、11,564円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

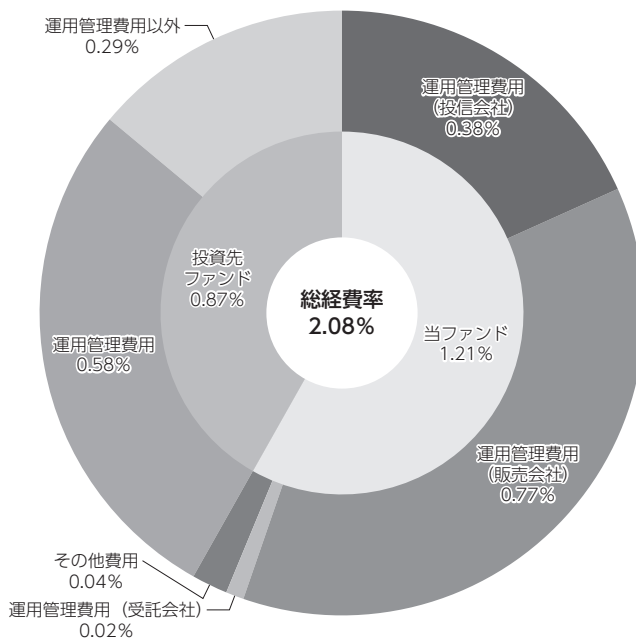
(注) 各項目の費用は、当ファンドが組入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.08%です。



(単位: %)

総経費率(①+②+③)	2.08
①当ファンドの費用の比率	1.21
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.58
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.29

(注) ①の費用は、「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券です。

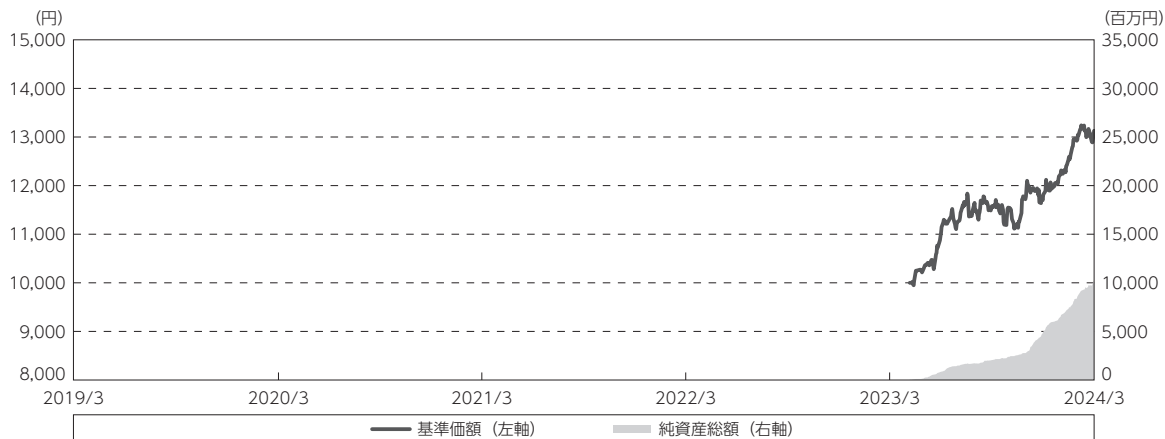
(注) ①の費用は、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) ③その他費用の比率が入手できない投資信託証券の場合、②運用管理費用の比率に総経費率を集計しています。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移 (2019年3月15日～2024年3月15日)



(注) 当ファンドの設定日は2023年4月21日です。

	2023年4月21日 設定日	2024年3月15日 決算日
基準価額 (円)	10,000	13,129
期間分配金合計(税込み) (円)	—	0
基準価額騰落率 (%)	—	31.3
純資産総額 (百万円)	44	10,308

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注) 設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2024年3月15日の騰落率は設定当初との比較です。

(注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマークおよび参考指数は設定していません。

## 投資環境

- 新興国株式市場は、設定日から2023年5月にかけては、米地銀の健全性への懸念や米国の債務上限問題、米中対立や中国経済への懸念などを背景に上値の重い推移となりました。その後は、米国債務上限問題の解消などを背景に6月前半にかけて一時上昇しました。しかし、中国経済の先行き懸念や欧米中央銀行による利上げ継続姿勢などを受けて、景気後退への懸念が高まり、その後7月上旬にかけて下落基調となりました。7月中旬から下旬にかけては、米国のインフレ圧力低下を背景とした利上げ停止の見方が広がったことや、中国政府の景気刺激策への期待感も後押しとなり上昇しました。8月前半は、米国国債の格下げなどを背景に米国長期金利が上昇したことや、中国不動産市場の不透明感などから大きく下落しました。9月にかけては、底堅い米国景気や、原油等の商品価格上昇、新興国の景気への期待などを背景に、新興国株式市場は上昇しました。9月以降は、ユーロ圏や中国景気の先行き不透明感、米国における国債増発などを受けた高金利環境の長期化懸念などから10月にかけて軟調に推移しました。その後は、米連邦準備制度理事会（FRB）の利上げ終了や早期利下げ観測、米国長期金利の低下や米ドル安の進行などを背景に12月にかけて上昇傾向となりました。2024年年初から1月半ばにかけては、堅調な労働市場データなどを背景にFRBの早期利下げ観測が後退したことや、市場予想を下回る中国の景況感指数が嫌気されたことなどから、新興国株式市場は下落しました。その後は期末にかけて、米大手半導体企業の好決算を受けた世界的な株高進行やFRBの早期利下げ実施観測、中国の消費支出回復への期待感などから、新興国株式市場は堅調に推移しました。
- 為替市場では、新興国通貨は、新興国を含めた世界景気の底堅い推移、米国債務上限問題の解消などから堅調に推移しました。新興国の相対的な金利の高さや堅調な景気状況を背景とした資金流入で、2023年6月にかけて新興国通貨は対円での上昇傾向が継続しました。7月以降は、日本銀行が長短金利操作（イールドカーブコントロール）の運用を柔軟化すると観測報道を受けて新興国通貨安・円高となる場面もあったものの、米国の利上げ停止観測や新興国の堅調な経済成長への期待から、9月にかけても新興国通貨は対円で上昇基調での推移となりました。FRBの金融引き締め政策の長期化観測や米国長期金利の上昇、中東情勢の緊迫化などを受けて10月にかけては、全般的に軟調に推移しました。その後は、日本銀行の金融緩和政策修正の可能性などから円高が進行し下落する局面もありましたが、FRBをはじめとする先進国中央銀行による利下げ開始の観測が高まるなか、相対的に高い金利水準から、期末にかけて新興国通貨は対円で上昇しました。

## 当該投資信託のポートフォリオ

投資信託証券への投資を通じて、主に新興国の中でも相対的に高い成長が期待される国の株式に投資しました。

投資先ファンド	組入比率		当期騰落率
	設定日	期末	
PGSF-グローバル・グローイング・マーケット・ファンド	－	98.2%	+34.6%
ピクテ・ショートターム・マネー・マーケット JPY	－	0.2%	-0.2%

(注) “PGSF” は「ピクテ・グローバル・セレクション・ファンド」の略称です。以下同じ。

## 投資先ファンドの組入状況

### <PGSF－グローバル・グローイング・マーケット・ファンド>

主に高い経済成長が期待される新興国の株式に投資しました。

#### ◇組入上位10カ国・地域

【期末】

国・地域名	組入比率
ブラジル	19.2%
インド	18.2%
メキシコ	14.4%
南アフリカ	10.2%
インドネシア	8.7%
アラブ首長国連邦	8.1%
トルコ	4.0%
サウジアラビア	3.0%
エジプト	2.5%
パナマ	2.5%

#### ◇業種別組入比率

【期末】

業種名	組入比率
金融	32.5%
資本財・サービス	12.6%
一般消費財・サービス	8.5%
不動産	7.4%
情報技術	7.2%
コミュニケーション・サービス	6.9%
素材	6.8%
エネルギー	6.1%
生活必需品	6.1%
ヘルスケア	1.7%
公益事業	0.7%

(注) 組入比率は当該投資先ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。業種はGICS（世界産業分類基準）のセクターに基づき表示しています。

#### ◇組入上位10銘柄

【期末】

銘柄名	国・地域名	業種名	組入比率
HCLテクノロジーズ	インド	情報技術サービス	2.9%
ラクサット・インドネシア銀行（ペルセロ）	インドネシア	銀行	2.9%
ナスパーズ	南アフリカ	大規模小売り	2.9%
インフォシス	インド	情報技術サービス	2.9%
グルポ・フィナンシエロ・バノルテ	メキシコ	銀行	2.8%
マンディリ銀行	インドネシア	銀行	2.7%
エマール・デベロップメント	アラブ首長国連邦	不動産管理・開発	2.5%
テレコム・インドネシア	インドネシア	各種電気通信サービス	2.5%
コパ・ホールディングス	パナマ	旅客航空輸送	2.5%
エマール不動産	アラブ首長国連邦	不動産管理・開発	2.4%

(注) 組入比率は当該投資先ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。業種はGICS（世界産業分類基準）の産業に基づき表示しています。

### <ピクテ－ショートターム・マネー・マーケットJPY>

短期金融商品等に投資を行い円建てでの高水準の元本の安定性と短期金融市場金利の確保を目指し運用を行ってまいりました。

## 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマークおよび参考指数は設定していません。

## 分配金

当期の収益分配は、見送りとさせていただきます。  
 なお、留保益については、元本部分と同一の運用を行います。

### ◆分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項 目	第 1 期
	2023年 4 月21日～ 2024年 3 月15日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	3,129

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。  
 (注) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は小数点以下を切捨てて表示しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針

### (1) 投資環境

長期的には、新興国経済は若い労働人口が豊富であることなどを背景に、中間所得層の持続的な拡大や構造変化に後押しされ、先進国を凌ぐ成長力を有しているとの見方には変更ありません。新興国株式のバリュエーション(投資価値評価)は、先進国株式に比べて依然として魅力的な水準にあります。また、米国の金融政策が2024年年内に利下げに転じる見込みである点は、一段の米ドル高の可能性を後退させ、新興国市場にとっても追い風となる可能性があります。一方、米国や新興国での政治イベントの動向などを受けて株式市場の値動きは大きくなる可能性もあり、注視が必要と考えます。

### (2) 投資方針

投資信託証券への投資を通じて、主に新興国の中でも相対的に高い成長が期待される国の株式に投資します。



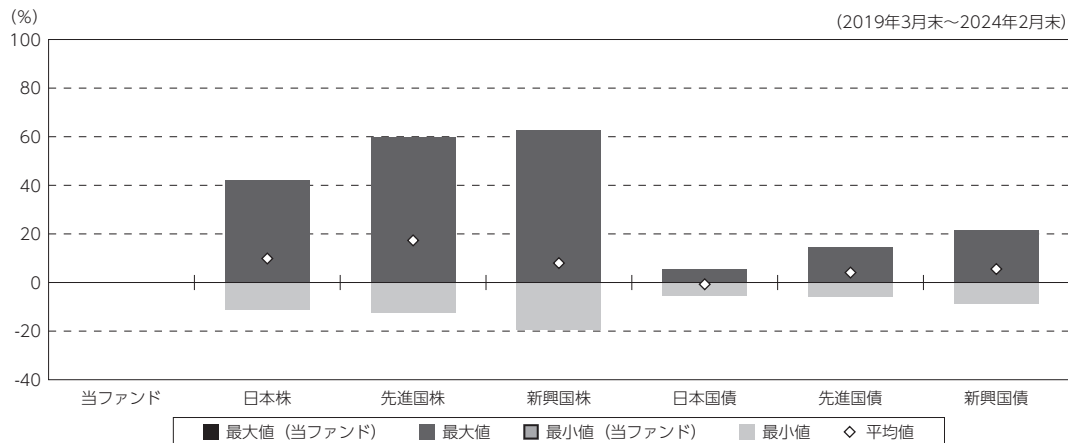
# お知らせ

デリバティブ取引はヘッジ目的にのみ行われていることを明確化するため所要の約款変更を行いました。

## 当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	2023年4月21日（当初設定日）から無期限です。
運用方針	主に投資信託証券に投資を行い、中長期的な信託財産の成長を図ることを目的に運用を行います。
主要投資対象	①ピクテ・グローバル・セレクション・ファンドーグローバル・グローイング・マーケット・ファンド受益証券 ②ピクテ・ショートターム・マネー・マーケットJPY投資証券
運用方法	①指定投資信託証券への投資を通じて、主に新興国の中でも相対的に高い成長が期待される国の株式に投資します。 ②実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主な投資制限	①投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ②投資信託証券、短期社債等、コマーシャル・ペーパーおよび指定金銭信託の受益証券以外の有価証券への直接投資は行いません。 ③外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。 ①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 ②収益分配金額は、基準価額の水準等を勘案して委託者が決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。 ③留保益の運用については、特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

## 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	—	42.1	59.8	62.7	5.4	14.8	21.5
最小値	—	△ 11.4	△ 12.4	△ 19.4	△ 5.5	△ 6.1	△ 8.8
平均値	—	9.9	17.3	8.0	△ 0.7	4.1	5.6

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2019年3月から2024年2月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。なお、当ファンドにつきましては、運用期間が1年未満であるため掲載しておりません。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

### ○各資産クラスの指標

日本株 東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株 MSCI コクサイ 指数 (税引前配当込み、円換算)

新興国株 MSCI エマージング・マーケット 指数 (税引前配当込み、円換算)

日本国債 NOMURA – BPI 国債

先進国債 FTSE 世界国債指数 (除く日本、円換算)

新興国債 JP モルガン GBI – EM グローバル・ディバーシファイド (円換算)

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジをしない投資を想定して、ドルベースの各指数を委託者が円換算しております。

# 当該投資信託のデータ

## 当該投資信託の組入資産の内容

(2024年3月15日現在)

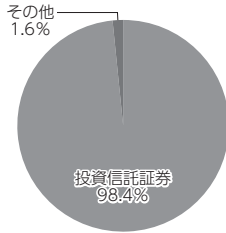
### ■組入上位ファンド

銘 柄 名	第1期末 %
ピクテ・グローバル・セレクション・ファンド・グローバル・グローイング・マーケット・ファンド	98.2
ピクテ・ショートターム・マネー・マーケットJPY	0.2
組入銘柄数	2銘柄

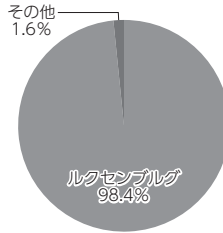
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

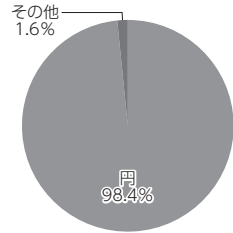
### ■資産別配分



### ■国別配分



### ■通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等(日本・円)を含む場合があります。

## 純資産等

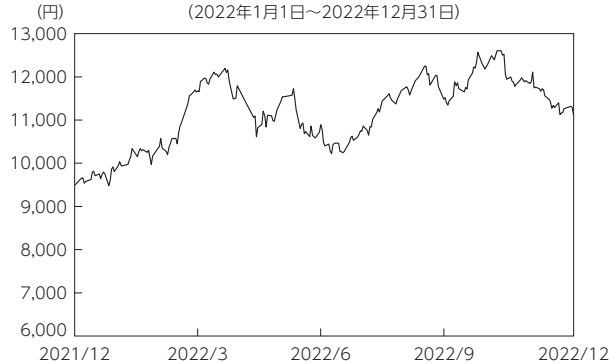
項 目	第1期末
	2024年3月15日
純資産総額	10,308,857,034円
受益権総口数	7,852,246,530口
1万口当たり基準価額	13,129円

(注) 当期中における追加設定元本額は8,364,863,308円、同解約元本額は556,658,412円です。

## 組入上位ファンドの概要

### ピクテ・グローバル・セレクション・ファンドーグローバル・グローイング・マーケット・ファンド

#### ■基準価額の推移



(注) 基準価額の推移は当組入ファンドの直近の計算期間のものです。

#### ■組入上位10銘柄

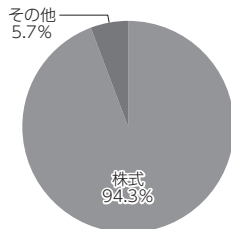
(2022年12月31日現在)

順位	銘柄	比率 (%)
1	AXIS BANK	3.1
2	STATE BANK OF INDIA	3.0
3	GFNORTE FINANCIERO BANORTE 'O'	2.8
4	FIRSTRAND	2.8
5	PT BANK MANDIRI	2.7
6	HCL TECHNOLOGIES LIMITED -DEMAT.-	2.6
7	ITAUUNIBANCO PFD	2.5
8	PETROBRAS PFD	2.5
9	STANDARD BANK GROUP	2.4
10	AMERICA MOVIL 'L'	2.3
組入銘柄数		122銘柄

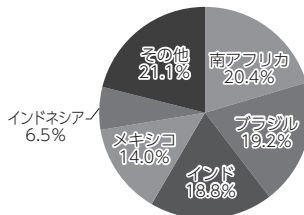
(注) 比率は当組入ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されています。

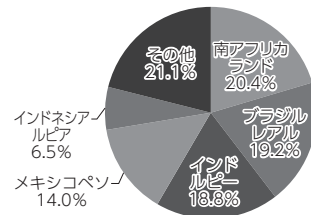
#### ■資産別配分



#### ■国・地域別配分



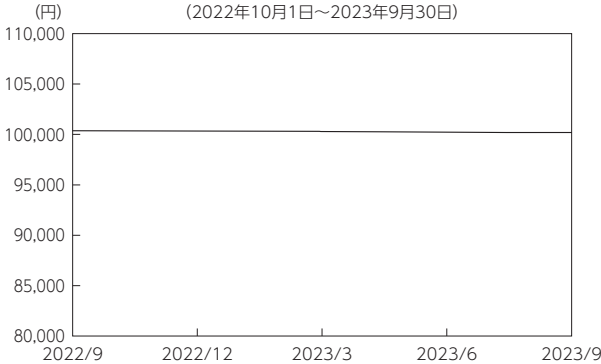
#### ■通貨別配分



(注) 資産別配分の比率は当組入ファンドの純資産総額に対する割合、国・地域別配分および通貨別配分の比率は当組入ファンドの組入有価証券の評価額合計に対する割合です。

## ピクテ・ショートターム・マネー・マーケット JPY

### ■基準価額の推移



(注) 基準価額の推移は当組入ファンドの直近の計算期間のものです。

### ■組入上位10銘柄

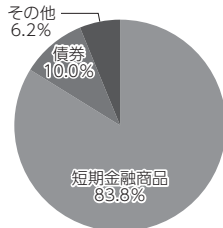
(2023年9月30日現在)

順位	銘柄	比率 (%)
1	TBI JAPAN 02/10/23 -SR-	5.0
2	C. PAP. BMW FINANCE 27/11/23 -SR-	3.9
3	CD MITSUBISHI UFJ TRUST & BANKING 13/10/23 -SR-	3.1
4	C. PAP. NTT FINANCE UK 20/10/23 -SR-	3.1
5	TBI JAPAN 06/11/23 -SR-	3.0
6	C. PAP. DB LONDON 13/11/23 -SR-	2.9
7	TBI JAPAN 13/11/23 -SR-	2.7
8	C. PAP. MITSUBISHI HC 09/01/24 -SR-	2.7
9	CD NATIONAL BANK KUWAIT (NEW YORK) 22/11/23	2.6
10	TBI JAPAN 11/12/23 -SR-	2.5
組入銘柄数		52銘柄

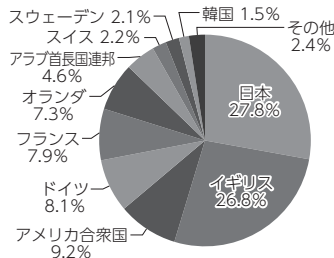
(注) 比率は当組入ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されています。

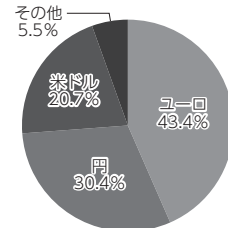
### ■資産別配分



### ■国別配分



### ■通貨別配分



(注) 資産別配分の比率は当組入ファンドの純資産総額に対する割合、国別配分および通貨別配分の比率は当組入ファンドの組入有価証券の評価額合計に対する割合です。

## 指数に関して

### ○ 「代表的な資産クラスと騰落率の比較」に用いた指数について

#### ■ 東証株価指数 (TOPIX) (配当込み) :

東証株価指数 (TOPIX) (配当込み) は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社 (以下「JPX」といいます。) に帰属します。JPXは、同指数の指数値およびそこに含まれるデータの正確性、完全性を保証するものではありません。JPXは同指数の算出もしくは公表方法の変更、同指数の算出もしくは公表の停止または同指数の商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

#### ■ MSCI コクサイ指数 (税引前配当込み) :

MSCI コクサイ指数は、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、同指数に対する著作権およびその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

#### ■ MSCI エマージング・マーケット指数 (税引前配当込み) :

MSCI エマージング・マーケット指数は、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、同指数に対する著作権およびその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

#### ■ NOMURA – BPI 国債 :

NOMURA – BPI 国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。同指数の知的財産権とその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属しています。また同社は同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、当ファンドの運用成果に関して一切責任を負いません。

#### ■ FTSE 世界国債指数 (除く日本) :

FTSE 世界国債指数 (除く日本) は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券指数です。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

#### ■ JP モルガン GBI – EM グローバル・ディバースィファイド :

JP モルガン GBI – EM グローバル・ディバースィファイドは、J.P.Morgan Securities LLCが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的な指数です。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。同指数の著作権はJ.P.Morgan Securities LLCに帰属します。